

会議録

1 開 会

2 あいさつ 澤邊会長より

ボランティア・公益活動がコロナ禍でどのように進めていけるのか、工夫が求められている。市民と育ててきたボランティア・公益活動の火を消さないように話し合っていければと思う。

今年度から委員の改選があった。一般社団法人酒田青年会議所の齋藤儀久委員から村上哲也委員へ、酒田中学校校長会の岩本涼子委員から島田茂樹委員へ改選となった。

3 報告事項

(1) 令和2年度事業の進捗状況について 資料1～

事務局より、資料に基づき報告。

(質問・意見等)

委員：

4ページ目にある自治会の空き家見守り隊があることを初めて知った。R2年度の目標が143に対して実績が141で素晴らしい。その下の世話役課長制度について、何を何回したのか数字がない。

事務局：

世話役課長は全てのコミュニティ振興会に担当の課長職を置いている。4月の段階で担当地区へあいさつや地域の課題の聞き取りをする。意見をざくばらんに言える関係を築き、意見の吸い上げ対応を検討している。地域によって、頻繁に相談があるところもあれば、ないところもあり、回数を設定することが難しいため、このような記載となっている。

委員：

もう一つ。3ページ目の下から2行目。環境づくりのボランティア活動に対する活動支援のR2年度目標が12,229人に対して実績が12,441人。ほとんど達成しているので素晴らしい。

また、1ページ目の下から2行目。人材育成の森林ボランティア育成事業。R2年度目標が2,000人に対して880人。色々な影響があったのだと思う。私の団体で

は例年、ボランティアが500人来るが、昨年度は700人だったので、活動する人が減っているわけではないと思う。私の団体が所持している敷地の所轄が交流観光課だが、やっていることは農林水産課的なこと。市役所は縦割りだから、私の団体の活動は縦割りの狭間にいるのでカウントされていない。

事務局：

資料1は体系別に整理し、体系ごとに関係する課がまとめているもの。複数の課がまたがるようなものがあれば、逆に抜けてしまうものもある。行われている活動については捨てるように作業していきたい。

委員：

関係する課どちらにも報告書を出すようにする。

あと一つ。市職員がボランティアに参加しているというデータは何もないのか。

事務局：

前回も同じような指摘を受けた。職員がどのようなボランティアを年何回行ったかというデータは取っていないので説明はできない状況。私の感触としては、業務ではなく私の部分でボランティアに参加している職員はそれなりにいると思う。ボランティアに対する意識が低い職員がいるのも事実だが、頑張っている職員もいるので、ひとくくりにはならないと思う。なお、公益活動団体協働提案負担金の制度が新しく始まるので明日、職員向けの研修を行う予定。制度の説明だけでなく、公益大の武田教授より基調講演をしていただくので、職員の意識を高めていくことにも対応していきたい。

委員：

ボランティアは義務ではあってはならないと思うが、手法が違うと思う。一つの例だが、内陸の会社の社員会が私の団体にボランティアに来た。有給休暇を取って来たのかと聞くと、社員会として来たと返答あり。社員会の代表がボランティアの出欠を全部記録しており、誰が何回参加したかがわかるようになっているようだ。大事なことは、職員がボランティア活動に参加することで、課題等様々なことに気づくことができるように体験を重ねること。

委員：

私は市職員がボランティアに参加していることを知っているが、委員の言ったこと事務局が言ったこと、両方かなと思う。

このアクションプランは後半に差し掛かった。今年度はコロナで大変なことがある

と思うが、数字だけではなく数字に表れない部分で工夫している部分もあるかもしれない。また、次の計画のときには縦割りを解消できるような計画の仕方があるのかなと思った。

- (2) 令和2年度事業について 資料2～
事務局より、資料に基づき報告。

委員：

資料2-1の3月11日にあった「10年目のキャンドルナイト in 酒田」について。昨年度はコロナの影響で中町で行うことができず、公益大、社会福祉協議会、里仁館の3会場で行った。コロナがなければ、10年目という節目の年ということもあり大々的に行いたかったが、実行委員のみでの点灯とした。この様子をSNSで写真、動画を拡散した。キャンドルナイトを10年目の節目で一旦終了することとなる。15年目、20年目の節目の開催についてはその都度検討していく。当館でも被災地に出向き、被災地への理解を深めていたが、今後は防災・減災という視点で引き続き講座の開催を続けながら、キャンドルナイトの精神を継続していきたいと考えている。社会福祉協議会や公益大生が同じような活動を続けていくという話もあったので、可能な限り連携しながらイベントができればと思っている。長い間みなさまから協力していただき感謝。

4 協議事項

- (1) 令和3年度事業計画（案）について 資料3
事務局より、資料に基づき報告。

(質問・意見等)

特になし

5 その他

委員：

アクションプランについて、縦割りの行政の横の繋がりが見える資料だと思う。来年度は最終年度のようなのだが、その後のアクションプランの計画はあるのか。それとも振興計画や評価に繋がるのか。

事務局：

現時点での具体的なスケジュールはまとまっていない。アクションプランについては、総括をし、重点的に進めるべき部分と、役割を終えた部分の集約をし、その上で

新たなアクションプランの検討をしていくという流れになる。

委員：

要望だが、公益活動という視点での計画見直しをぜひ継続してほしい。今はSDGs等新しいテーマも出てきているので、そういったものも取り込んだ形で、公益について市民が議論する場があればいいと思う。

澤邊会長：

ありがとうございます。他にないようなので事務局にお返しします。

6 閉会